

**第11期  
2021年1月期  
定時株主総会**

**2021年4月23日  
丸善CHIホールディングス株式会社**

# 事業報告

事業環境

# 事業環境：新型コロナウイルス感染症拡大

2020年1月  
国内感染者確認

2020年4月  
緊急事態宣言  
発出

## 国内の状況

- ・ インバウンド  
需要減
- ・ 外出自粛
- ・ 百貨店・飲食店  
休業、時短営業
- ・ 休校
- ・ 公共施設休館、  
利用制限

## 当社グループの 状況・対応

- ・ 9割以上の店舗で休業
- ・ 大学売店の休業
- ・ 訪問営業活動の自粛
- ・ 大学教科書販売を  
ネット通販型で実施
- ・ デジタルコンテンツの  
期間限定無料公開実施

# 事業環境：新型コロナウイルス感染症拡大

2020年5月  
緊急事態宣言  
解除

感染再拡大

2021年1月  
緊急事態宣言  
発出

2021年3月  
緊急事態宣言  
解除

## 国内の状況

- ・ オンライン授業継続
- ・ テレワーク推進
- ・ 外出自粛
- ・ 飲食店時短営業

## 当社グループの状況・対応

- ・ 電子書籍、電子教材、電子図書館の売上拡大
- ・ 書籍除菌機の需要拡大
- ・ オンライン授業継続により教科書、専門書売上が好調
- ・ テレワーク推進でオフィス街や都心部店舗の売上減の一方、都市部周辺の沿線駅や地方店舗が好調

# 当社グループの事業経過

店舗や大学売店の休業・時短営業  
訪問営業活動の自粛



電子書籍

電子図書館

教科書WEB販売

書籍除菌機

オンラインイベント

学術機関向け電子書籍  
Maruzen  
eBookLibrary

onSMaRT®

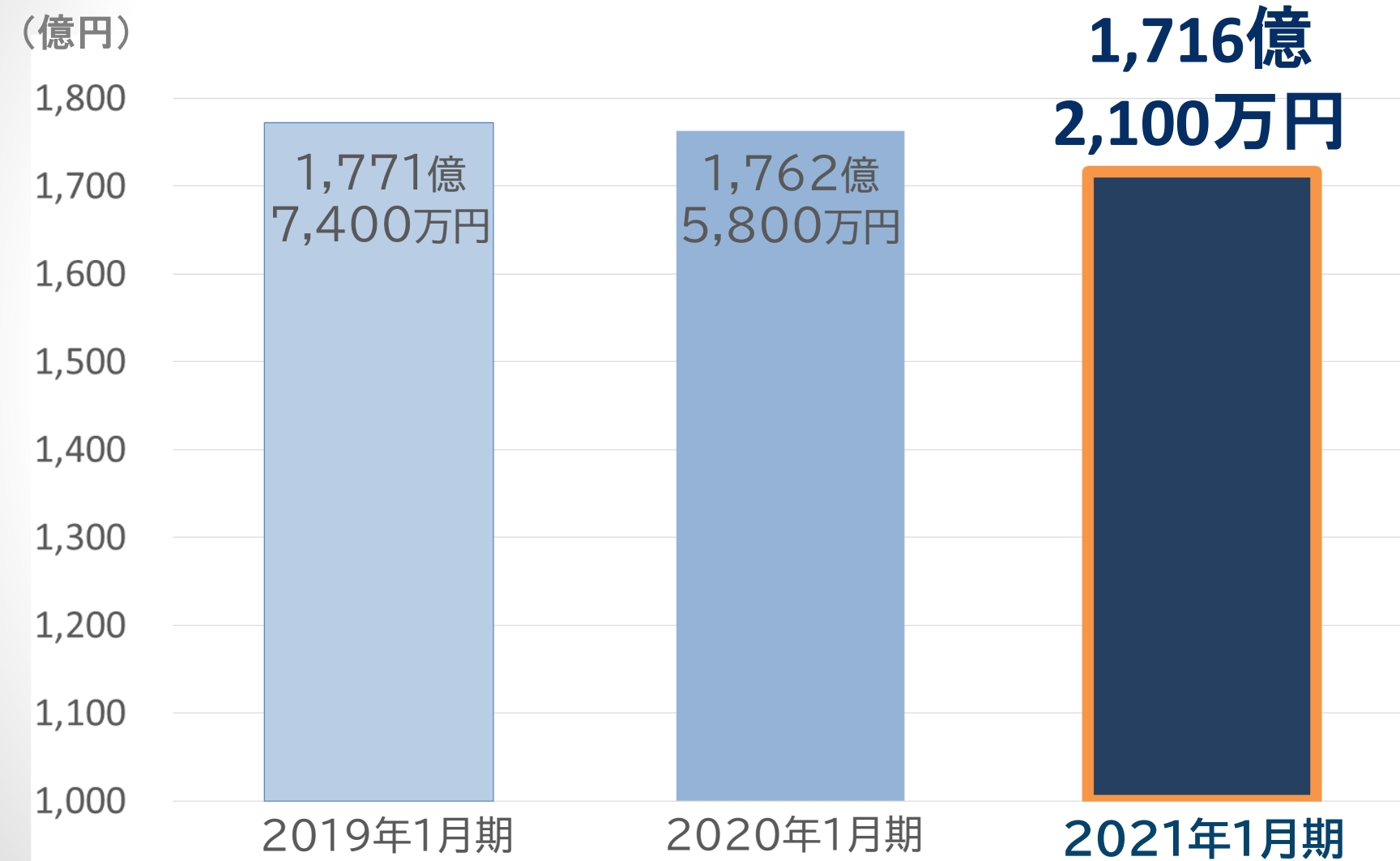


**電子図書館導入や安全安心な図書館運営など  
これまでの取組みを強化・推進し  
一定の成果を上げた**

# 事 業 報 告

2021年1月期 業績

# 2021年1月期業績：売上高



# 2021年1月期業績：利益

## 営業利益

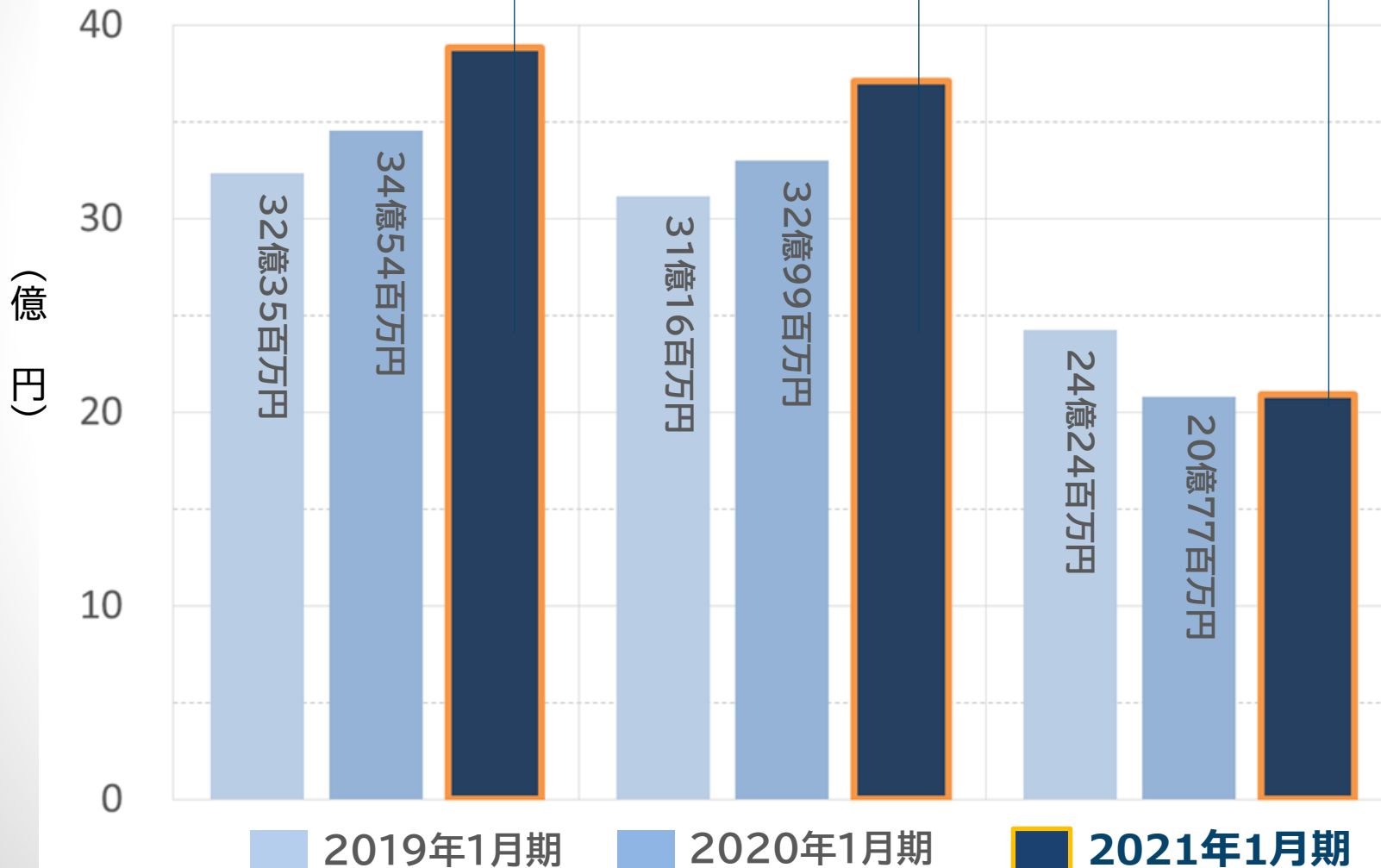
38億8,200万円

## 経常利益

37億1,000万円

## 親会社株主に帰属する 当期純利益

20億9,100万円





# 事業報告

2021年1月期 セグメント概況

# 当社グループの事業分野

## 丸善CHIホールディングス株式会社

店舗・ネット  
販売事業

(株)丸善  
ジュンク堂  
書店

出版事業

丸善出版  
(株)

文教市場  
販売事業

図書館総合  
研究所

図書館サポート  
事業

(株)図書館流通センター

岩崎書店

丸善雄松堂(株)

その他事業

図書館流通

明日香

グローバルリユース  
サービス

第一鋼鉄工業所

編集工学研究所

# 文教市場販売事業

- ・公共図書館向け販売事業
- ・研究者向け販売事業
- ・大学・研究機関向け販売事業

## 売上高

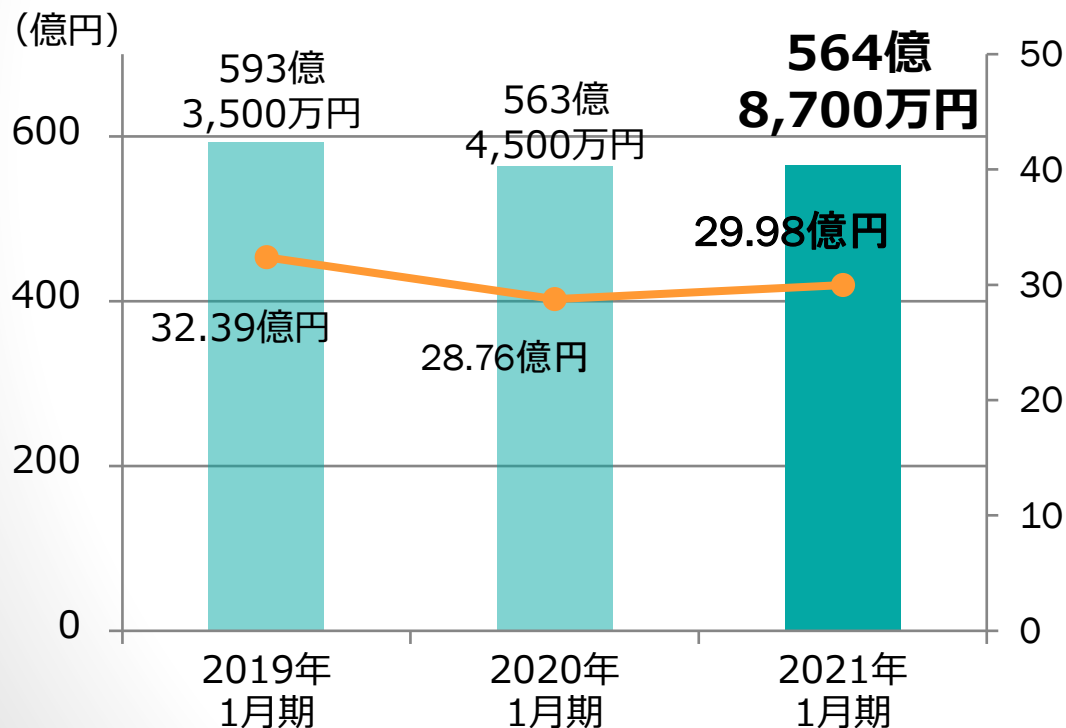
564億8,700万円

対前年+1億4,100万円

## 営業利益

29億9,800万円

対前年+1億2,100万円



## 当期の概況

- 大学売店休業、訪問営業自粛で売上減
- 電子書籍・電子図書館・電子教材・書籍除菌機の売上が伸長

増収増益

# 店舗・ネット販売事業

- ・書籍・雑誌 文具・雑貨販売
- ・2021年1月期末店舗数:101店

## 売上高

670億400万円

対前年▲67億8,300万円

## 営業利益

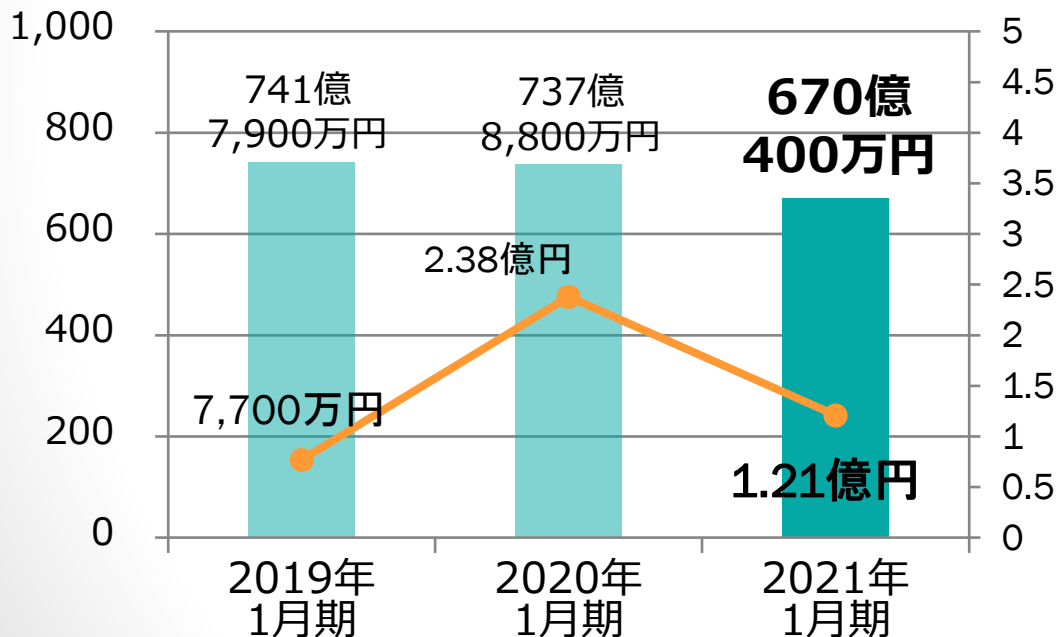
1億2,100万円

対前年▲1億1,600万円

### 当期の概況

- 店舗営業自粛、時短営業の影響で減収
- 都市部周辺の沿線駅や地方店舗が比較的好調
- 業務効率化と経費削減を推進
- 臨時休業店舗の固定費を特別損失に振替

(億円)

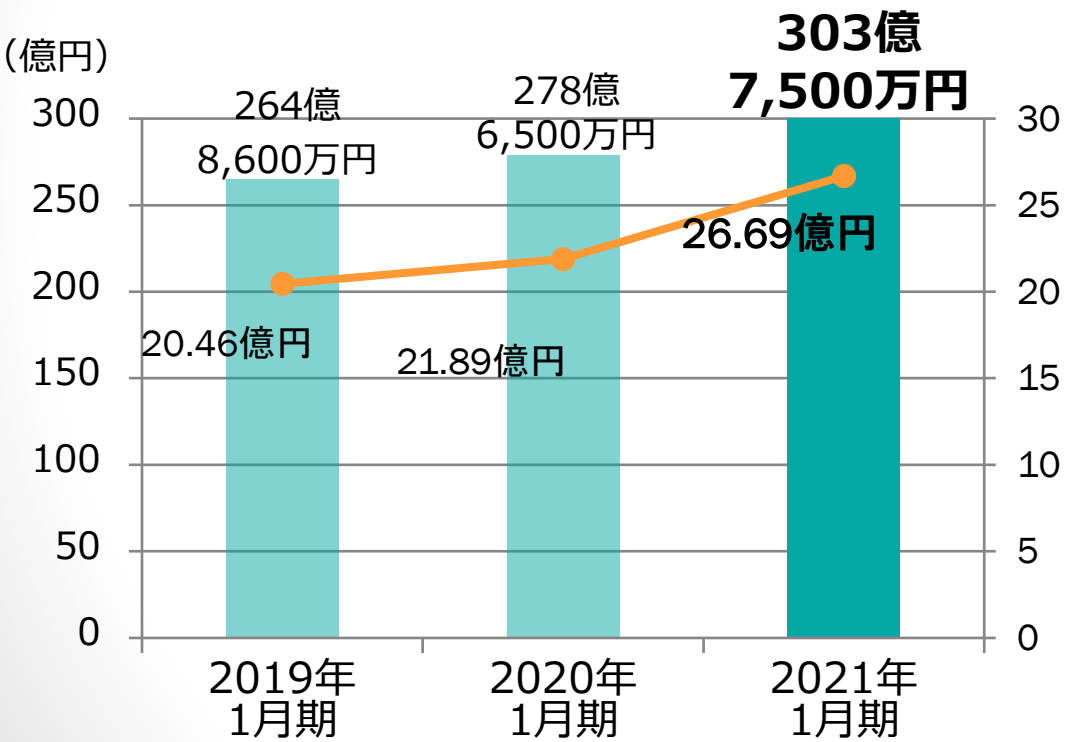


減収減益

# 図書館サポート事業

- ・業務受託: カウンター業務、目録作成、蔵書点検等
- ・運営業務: 指定管理者制度、PFI(民間資金等活用事業)

売上高	営業利益
303億7,500万円	26億6,900万円
対前年+25億900万円	対前年+4億7,900万円



## 当期の概況

- 2021年1月末時点の図書館受託館数は学校図書館を中心に187館増加し、1,676館となる
- 業務効率化の効果
- コロナ禍の影響は比較的少なかった

## 増収増益

# 出版事業

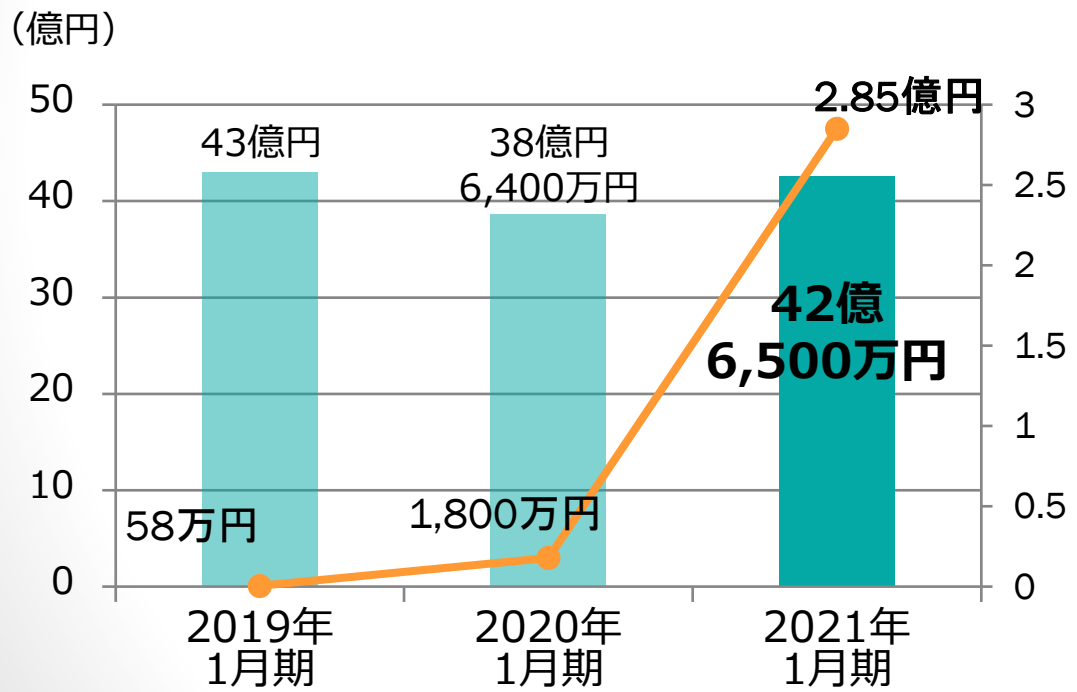
・大学テキスト等の専門書    ・絵本・童話等の児童書

売上高
<b>42億6,500万円</b>
対前年+4億100万円

営業利益
<b>2億8,500万円</b>
対前年+2億6,600万円

## 当期の概況

- 巣ごもり需要により児童書売上伸長
- オンライン授業の影響で教科書・専門書のニーズが高まった
- 児童書、専門書合わせて246点刊行（前期285点）



## 増収増益

# その他事業

## グローバルソリューションサービス(株)

- Apple製品他スマートフォン・PC等修理サービス

## (株)明日香

- 総合保育サービス / 保育園・託児所運営業務請負

## 丸善雄松堂(株)ショップ・システム・プロデュース事業部

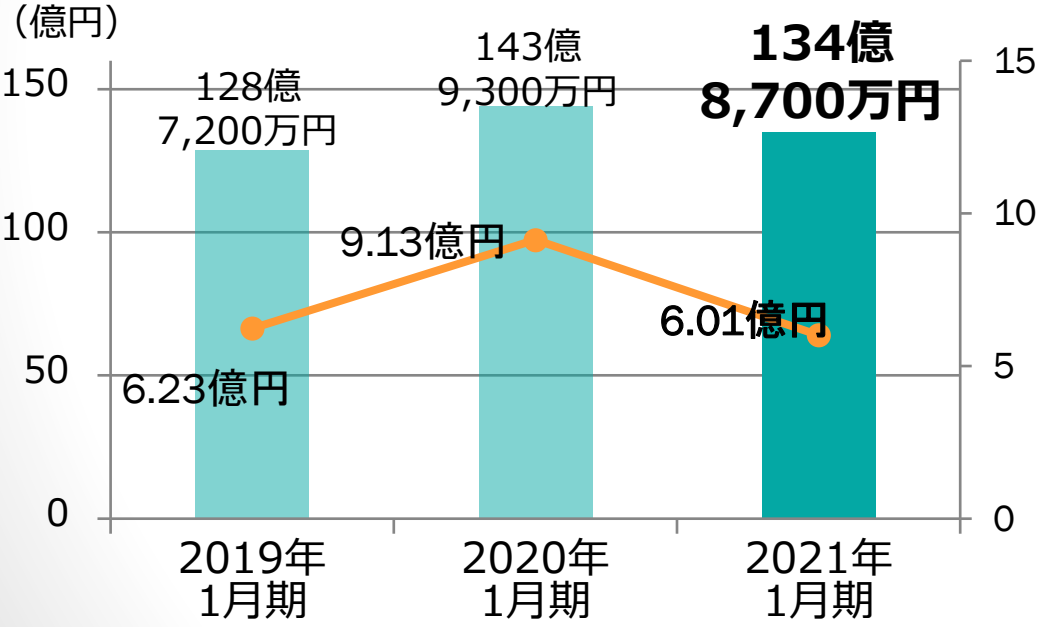
- 書店、中古書店ほか店舗向け什器・内装・デザイン

## (株)編集工学研究所

- 編集工学を応用したコンサルティング、教育・研修事業

# その他事業

売上高	営業利益
<b>134億8,700万円</b>	<b>6億100万円</b>
対前年▲9億600万円	対前年▲3億1,200万円



## 当期の概況

- 店舗内装業で主要顧客の投資意欲低下
- 訪問営業の自粛
- 大型の新店やリニューアル案件の延期・中止の影響

**減収減益**



**その他の事業報告につきましては  
お手許の招集ご通知の添付書類  
12ページ から 25ページ を  
ご覧くださいますよう  
お願い申し上げます  
なお、対処すべき課題については  
後ほど当期の取り組みとともに  
ご説明いたします**

# 連結計算書類および個別計算書類

## ◆連結貸借対照表

招集ご通知 添付書類 26ページ

## ◆連結損益計算書

招集ご通知 添付書類 27ページ

## ◆連結株主資本等変動計算書および 個別計算書類

招集ご通知 添付書類 28ページ～31ページ

ご高覧くださいますよう  
お願い申し上げます

# 対処すべき課題

# 国内外の状況

人の流れの変化、非接触サービス、巣ごもり需要など、コロナ禍による行動様式の大きな変化に加え、デジタル技術が大きく進化

## 行動様式の変化



リモート・オンライン  
の定常化



## 5Gなどデジタル通信 環境の急速な進展



電子メディアと  
配信モデルの多様化



当社では、2021年1月期において、これまでの取り組みが、大きな変化の中でも一定の成果を上げた。2022年1月期についても引き続き以下の主要戦略に取り組む。

**I. 学びとともに生きる社会への取り組み**

**II. 地域創生への貢献**

**III. 新しい書店収益モデルの創造**

# I. 学びとともに生きる社会への取り組み

**人生100年時代、高齢化、IT化が進み、  
学びや働き方が大きく変化していく**

より幅広い世代に、  
広範な知識や技能を身につける機会が  
必要となる

**そのような社会と個人にとって  
必要となる学びのための  
コンテンツや仕組みを提供**

# I. 学びとともに生きる社会への取り組み

## ①新しい生活様式の中でも、 知とのより良い接点を確保する

- 安全・安心な図書館運営をさらに強化
- 図書館運営のノウハウを活かし、全国のコロナ対策の取り組みをアーカイブ化し共有
- 自動貸出機の拡大など、ICTも活用して、これまで以上に、読者と本の接点としての役割を果たしていく



# I. 学びとともに生きる社会への取り組み

## ②ICTを活用し、コロナ禍においても 教育の質を支える仕組みを提供

- 大学教科書のオンライン販売導入を促進
- これまで大学内売店で販売していた教科書を、スマホから手続きし自宅に配送
- コロナ禍を経た新しい社会においても、教育の質を支える仕組みを提供していく



スマホで登録

QRコードをスキャンして  
購入サイトへ

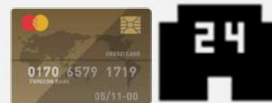
スマホだけでなく  
タブレットやPCでも可能です



簡単購入手続き



必要な教科書を  
絞り込んで選択



クレジット/コンビニ決済

クレジットは一括払い  
ご家族の方の決済も可能です

コンビニ払いなら近所や  
通学途中で楽々手続き



自宅での受け取り

入金確認後、宅配します  
ご自宅やご希望の住所へお届け

出荷メールで問い合わせ番号  
も事前確認可能



# I. 学びとともに生きる社会への取り組み

## ③ デジタル技術を活用した 新しい読書環境の提供・知へのアクセス

- バーチャル図書館の試作版を公開
- 仮想空間に本を通じた知の空間を提供、  
知への快適なアクセスを新しい生活様式の中  
でも提供（2022年度正式版公開予定）



Welcome to Virtual Library !

Enter

## Ⅱ. 地域創生への貢献

人口減少社会の中で地域創生は  
これからの日本の大きな課題

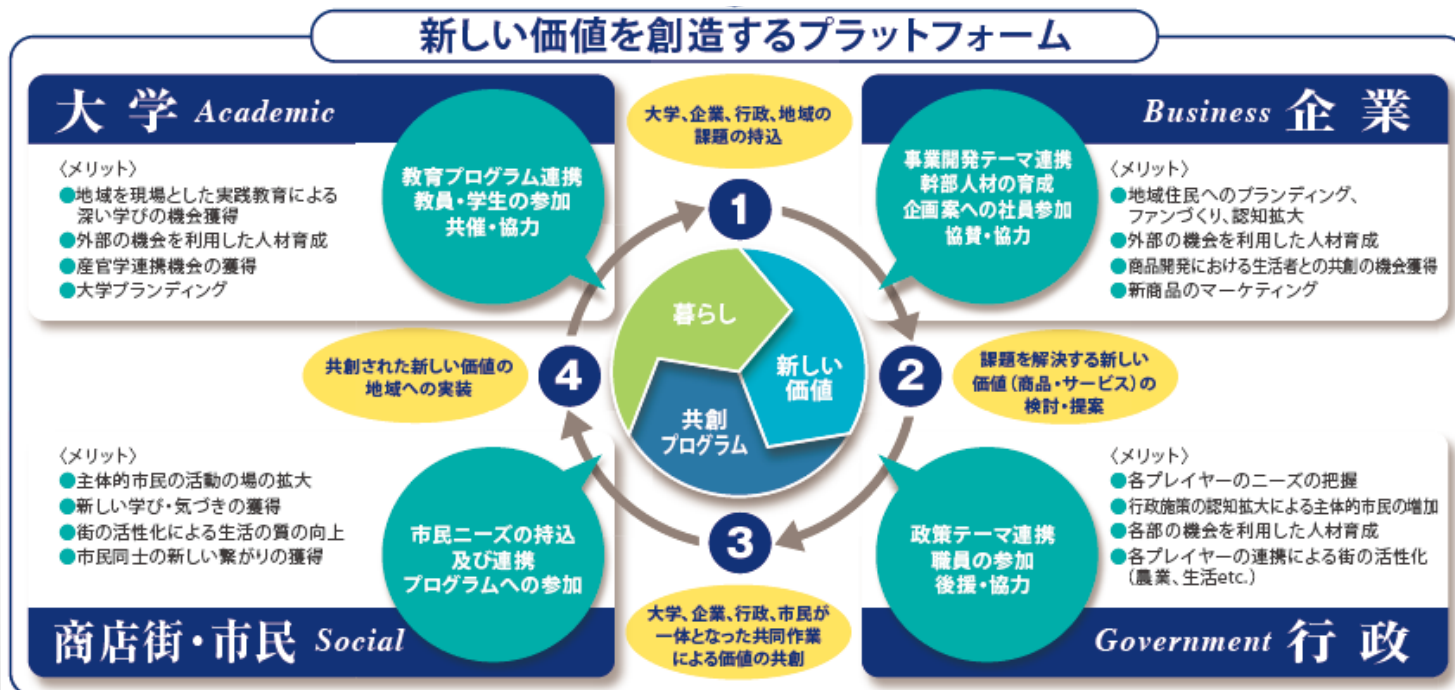
地域ごとの暮らしを、どのように  
豊かなものにしていくかが、  
求められていく

これまで培った図書館運営や、  
学習環境づくりのノウハウを活用し  
地域創生事業を拡大

## Ⅱ. 地域創生への貢献

### ① 地域社会の活性化に貢献する プラットフォームづくりの推進

自治体、企業、大学、住民がつながり、地域社会が活性化するプラットフォームづくりを、当社グループで連携して推進する



## Ⅱ. 地域創生への貢献

### ② 敦賀市 知育・啓発施設

- 2022年秋開業に向けて、HP準備サイトを開設
- 読書ワークショップなどを開催し、市民の意見を聞き、施設の開設に向け準備を進める
- 2022年1月期はオンラインでのイベントやワークショップを開催予定



新たな知の賑わいへ

# 敦賀市 知育・啓発施設 Intellectual Facility Project

## プロジェクト

敦賀のまなびの未来を考えよう  
オンラインワークショップ開催！

施設の活用アイデアあります！

自分たちの活動と連携したい！

こんなことやりたい！

みなさんのアイデアお待ちしています！

2022年度、敦賀駅前エリアが大きく変わります。そこに完成する「知育・啓発施設」、図書館とも書店とも違うこの施設でまなびを通じて「やりたいこと」「実現させたい企画」などについて、アイデアを持ち寄り、考えるワークショップ（オンライン）を開催します。みなさんの声をお聞かせください！

<日時>  
**2021/3/14 Sun.**  
13:30-15:30

Zoomを利用した  
オンラインワークショップ

## Ⅱ. 地域創生への貢献

### ③ 海南市 海南nobinos

- 図書館機能、市民活動・生涯学習活動支援機能、子育て支援機能、カフェ・広場などを有する、市民交流施設を備えた、TRCが運営受託する複合施設
- 日本一の開架冊数となる5万冊の絵本が並ぶ、柔らかい本棚で作られた迷路のような空間
- 子どもと一緒に訪れた方がゆっくりと本を選べるよう託児室も備える



## Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

これまで店舗・ネット販売事業では  
業務の効率化、集客力や品揃えの向上など  
収益構造改革を推進

**コロナ禍により大きく減収も  
これまでの取り組みに一定の成果**

さらなる収益力の向上により  
安定的な黒字体質構築へ

# Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

## ① ICTを活用した効率化の推進

### セルフレジの導入による安心と効率化

- 大型店を中心にセルフレジを導入  
(6店舗・合計17台 2021年4月現在)
- 非接触と有人レジ削減により、安心と効率化を推進
- 今後も効果検証を継続しつつ拡大



### 購買分析によるキャンペーン効果向上

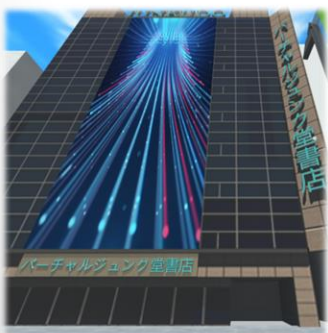
- hontoカードデータの詳細分析によるより効果的なポイントキャンペーン
- 店舗別購買動向に即したキャンペーン内容でキャンペーン効果向上



# Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

## ②映像・デジタル技術を活用した読書体験の向上

- ・コロナ禍においてスタートしたオンラインイベント配信事業をさらに拡大し、情報発信力を高めることで、リアル店舗への集客につなげる
- ・「池袋ミラーワールド」にバーチャルジュンク堂書店を開店、仮想空間での本との出会いやイベントにより、さらに多くの人に本が身近になる取り組みを開始



「バーチャルジュンク堂書店池袋本店」 内観イメージ



# Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

## ③スクラップ&ビルド・魅力ある店舗作り

### スクラップ&ビルド 生活圏内店舗への出店

- 新しい生活様式に沿った出店戦略を推進
- より生活圏に近い範囲に中型店中心の出店を加速（2020年度に、このタイプを6店出店済）



丸善 アスナル金山店

### 魅力ある店舗作り 文具店・業態店を強化

- 文具単独店や、カフェとの一体店舗などの新業態の出店に注力（2021年3月に、文具単独店2店舗出店）



丸善 広島三越店

依然として厳しい環境の中ですが、  
当社は経営理念のもと、  
これらの施策を中心に、地域・社会への  
貢献と収益力の向上に  
努めてまいります

## グループ経営理念

価値観

知は社会の礎である

ビジョン

知の生成と流通に革新をもたらす  
企業集団となる

# 2022年1月期計画：売上高

## 売上高 1,770億円

(対前年+53億7,900万円)

(億円)

1,800

1,700

1,600

1,500

1,400

1,300

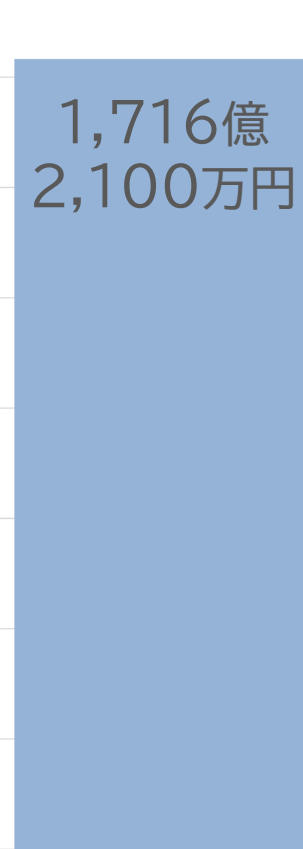
1,200

1,100

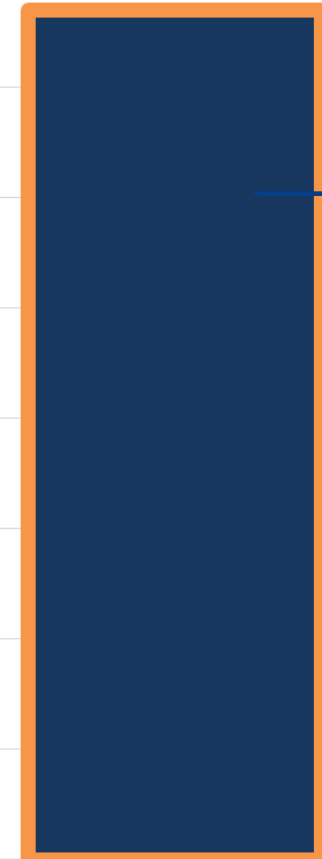
1,000



2020年1月期



2021年1月期



2022年1月期  
(計画)

# 2022年1月期計画：利益

## 営業利益

36億円

対前年

▲2億8,200万円

## 経常利益

34億5,000万円

対前年

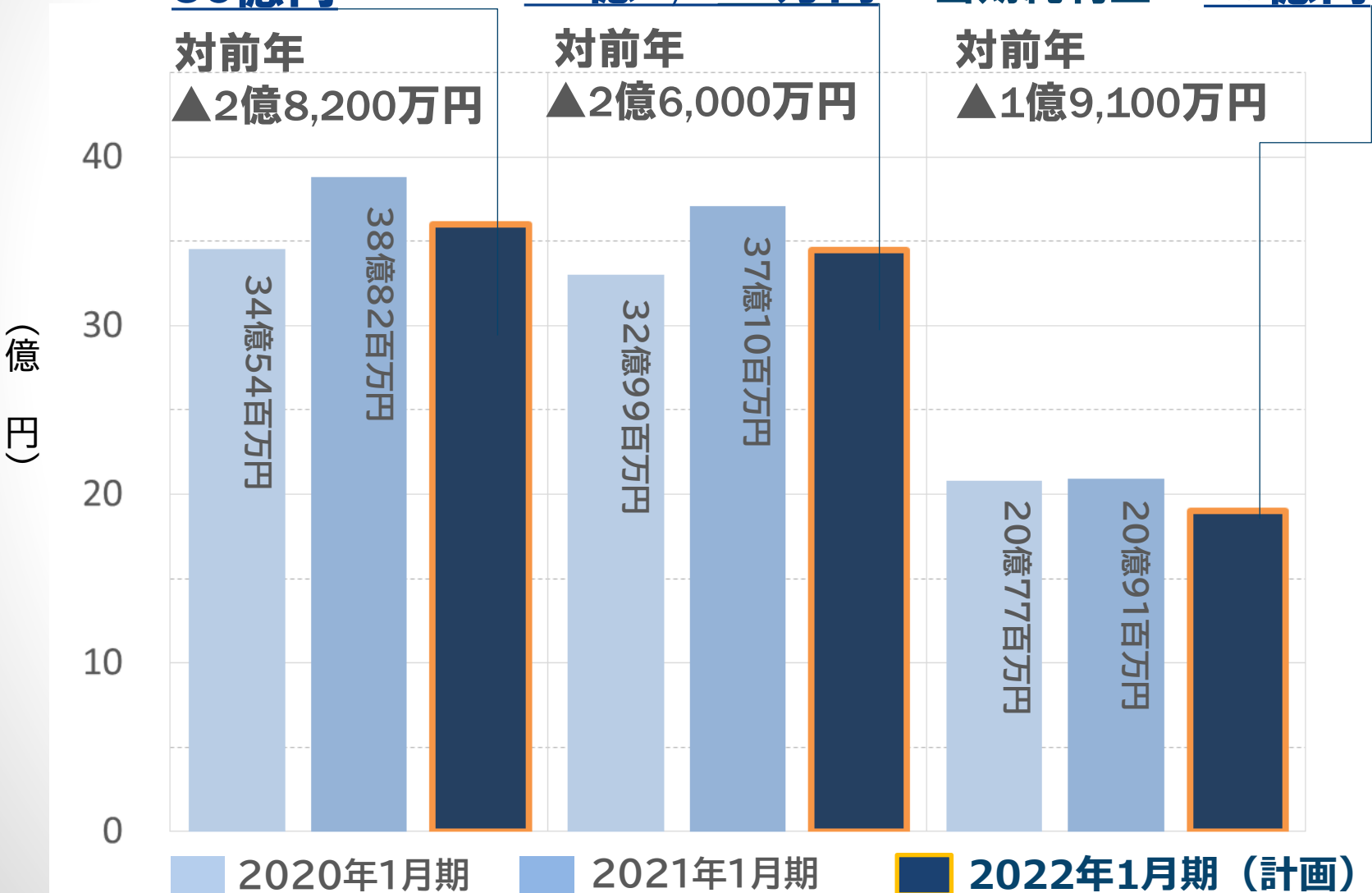
▲2億6,000万円

## 親会社株主に帰属する

当期純利益 19億円

対前年

▲1億9,100万円



**以上、対処すべき課題について  
ご説明申し上げます**

**今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく  
宜しくお願い申し上げます**

# 第11期 定時株主総会

# 本総会でご審議いただく 議案の概要    ご説明

# 第1号議案

## 剰余金の処分の件

【参考書類：5ページ】



# 第2号議案

## 取締役

(監査等委員である取締役を除く)

## 6名選任の件

【参考書類：6ページ～10ページ】

# 第11期 定時株主総会



MARUZEN CHI  
Holdings